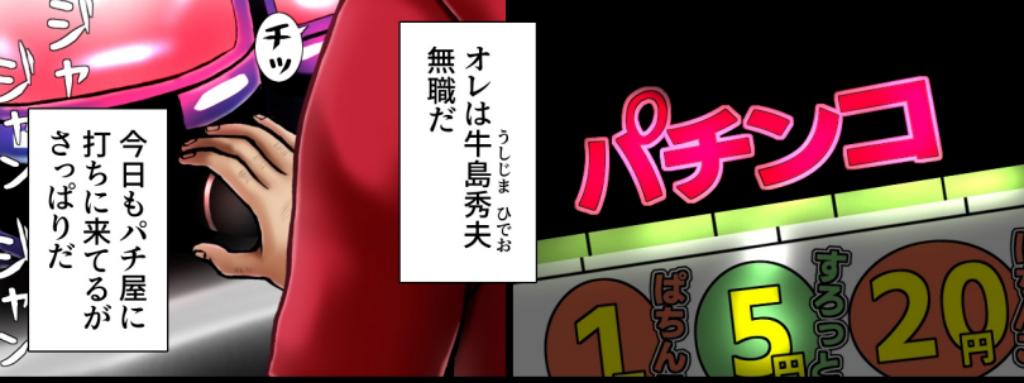


— プロローグ —







第一話

新監督は昭和オヤジ



今日も練習がんばってね

しおとめ りょうた  
**塩留 良太**

ありがとう！  
行ってくるね！  
また後でね！

はづきまい  
**葉月舞**

潮穂学園には、女子野球部はおろか、男子野球部さえもなかつた。

そんな中、葉月舞は女子硬式野球部創設を認めてもらえるよう仲間たちと毎日、奔走する。塩留良太は、そんな舞に一目惚れし、野球未経験だが、部を立ち上げるために協力した。

そして、認可が下りる人数も集まり――

潮穂学園女子硬式野球部が発足したのであつた。

それから幾日が過ぎ――

良太は舞に告白し、二人は恋人関係になつた。

女子野球部の立ち上げ当初、良太は練習の手伝いをしていたが、部員が増えた今は、指導者でもない男の自分がいるのは女子部員たちも気を遣うだろうと、放課後は図書室で舞の帰りを待つのが日課となつていて。

だが、未だにエッチどころか、キスもできていない。



もっと飛ばそうっ！

がんばれっ！



とうじょう なぎさ  
**東條 渚**



渚  
ココよつ！  
思いつ切り投げてつ！

キャプテンの舞は  
バッティングで悩んでいた

いくら我流で練習しても  
効果が実らず  
試合で打てないでいた

校長が一応 監督をしていたが  
練習にも ほとんど顔を見せず

指導も消極的で  
あまりにもチームは弱く  
辞めていく部員も出始めていた

そんなとき——  
女子野球部の監督に  
新しく就任するという  
男が現れた

キャプテンの葉月です  
今日から  
よろしくお願ひします

ああ

うしじま ひでお  
**牛島 秀夫**

牛島は  
特に何も言わず

舞たちの練習を  
見るだけの日が続く

ねえ キャプテン！  
頭にタオル巻いている  
あの監督  
なんかイヤー

ダサいよね  
夏なのに  
ジャケット着てるし

何も指導してこないし  
気持ち悪い

今まで私たちだけで  
頑張つてこれたじやない  
気にせずやつていこつ！

はい！  
キャプテン！

けつ  
最近の生徒は  
自ら指導を乞うとか  
しないのか（ボソッ）

良いケツ  
してやがるぜ

にしても  
キヤブテンは  
葉月と言ったか…

ニヤッ



第二話  
お尻チェック！



ある日――

監督から  
練習が終わったら  
この体育倉庫に  
来るようにな  
言われたけど…

窓に向かって  
待つようにな  
言われたけど…

あつい…

タラア…

ジーワ  
ジーワ

がチヤッ

バターン

待たせたな

あつ  
監督！

葉月  
おまえ野球のこと  
で悩んでないか？

えツ  
!?

よかつたらオレに  
アドバイスを  
させてくれないか？

はい…

山

だが  
ソレをするためには

お前の身体を  
チェックしなければ  
ならない

いいか？

!?

身体をチェック…?  
どういうことだろ…?  
よく分かんない…!

でも  
ソレでバッティングが  
良くなるなら  
いいかも…！

はいっ  
ぜひ お願いします！



弾力があつて  
触り心地  
たまんねえ

尻を鍛えれば  
身体能力がアップ  
できることを  
知っているか？

プロ野球球団Sの  
スカウトも  
尻が大きい選手を  
取りにいくらしいぞ

体験版は以上です。  
続きは、製品版でお楽しみください。

